

平成 27 年度
事業報告書

東備西播定住自立圏形成推進協議会

生活機能の強化

【ア. 医療】

(ア) 地域医療の連携

○取組の内容

圏域の中核的病院である赤穂市民病院を中心として、圏域内の公立病院等が連携を図り、医療体制の確保、充実に取り組む。

| 備前市の役割 | 赤穂市の役割 |
|--|--|
| (a) 医療関係者等を対象とした研修を赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実にを図るため、医療情報等の交換・協議の場を赤穂市と連携して運営する。 | (a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実にを図るため、医療情報等の交換・協議の場を設置し、運営する。 |
| 備前市の役割 | 上郡町の役割 |
| (a) 医療関係者等を対象とした研修を上郡町と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実にを図るため、医療情報等の交換・協議の場を上郡町と連携して運営する。 | (a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市及び赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実にを図るため、医療情報等の交換・協議の場を備前市及び赤穂市と連携して運営する。 |

| 事業名 | 関係市町 | |
|---|---|--|
| | 赤穂市・備前市・上郡町 | |
| 事業内容 | 医療連携研究会事業 京都大学等から大学教授を招へいし、4公立病院（赤穂市民病院、備前病院、日生病院、吉永病院）の医師、看護師ほか医療技術者を対象に、先端医療の現状等について講演、指導等を仰ぐ連携研究会事業を行う。 | |
| 効果 | 公立病院の医師、看護師ほか医療技術職員の資質向上を図るとともに、医療関係者の相互理解を深め、今後の病院間連携・協力体制を構築する基礎とする。 | |
| 平成27年度事業の内容 | | |
| <p>●病院及び介護施設の関係者を対象にした集合研修の実施 講演者：松本クリニック 院長 三上 雅美 内容：認知症を取り巻く最近の動向 と き：平成27年10月15日（木）午後7時から と ころ：赤穂市民病院 講義室 参加者：赤穂、備前、上郡 医療技術者等 101名</p> <p>●公開学術講演会の実施 講演者：奈良県立医科大学附属病院 教授・臨床研究センター長 笠原 正登 西日本ボクシング協会 会長 井岡 弘樹 内容：演題「ヒポクラテスの涙」「己に勝つ」 と き：平成28年2月26日（金）午後5時30分から</p> | | |

| |
|--|
| ところ : 赤穂市民病院 講義室 参加者 : 赤穂、備前、上郡 一般住民及び医療技術者 83名 |
| 事業費 249,760円 (予算額 376,000円) |

| 事業名 | 関係市町 | |
|--|---|--|
| | 赤穂市・備前市・上郡町 | |
| 事業内容 | 看護職員の教育研修に必要なシミュレータ（手技訓練のための実物モデル）等の教育機材を購入し、4公立病院（赤穂、備前、日生、吉永）の新人を中心とした看護職員の技術取得、レベルアップを図る。 | |
| 効果 | 看護職員は全国的にも確保が困難な状況であり、採用後の離職防止対策は重要な課題である。中でも看護技術の取得は一朝一夕にできるものではなく、現場のみならず様々な教育機材を活用したトレーニングが有効である。このため、教育機材を設置し、4公立病院の看護職員の技術取得、レベルアップをはかることにより、離職防止にもつなげていく。なお、教育機材は新人のみならず、在家庭の看護師の再就職の際にも非常に効果があることから、確保対策としても期待できる。 | |
| 平成27年度事業の内容 | | |
| 研修用シミュレータ ・呼吸音聴診シミュレータラング ・レザン withQCPR 全身スキル`イト` SimPad スキルポ`ータ ・殿部筋肉内注射モデルⅡ型 ・吸引モデルⅡ型 ・コーケン気道管理モデル 計 | 1,762,560円 486,000円 142,290円 137,700円 459,000円 2,987,550円 | |
| 事業費 2,987,550円 (予算額 3,000,000円) | | |

| | | |
|-------------------------------|---|-------------|
| 事業名 | 圏域住民診療支援事業 | 関係市町 |
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 備前市民及び上郡町民が圏域の中核病院である赤穂市民病院で出産した場合の助産料について、赤穂市民が負担する額と同額とする。 | |
| 効果 | 備前市及び上郡町では出産できる施設がないため、赤穂市民病院を含め市町外の施設での出産をせざるを得ない状況となっている。さらに、赤穂市民病院において、赤穂市民と市外の人々の助産料に格差があるため、圏域外の施設での出産を望む人が多い。このため、圏域内住民の助産料を同一とし、妊婦の負担を軽減することにより、安心して生み育てることができる環境づくり及び圏域の活性化に寄与する。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| 4月～3月の実施状況 | | |
| 備前市 | 5件 | 198,000円 |
| 上郡町 | 16件 | 616,500円 |
| 計 | 21件 | 814,500円 |
| 事業費 814,500円 (予算額 1,480,000円) | | |

【イ. 教育】

(ア) 生涯学習の推進

○取組の内容

圏域における生涯学習の機会拡大、文化・スポーツの振興、健康増進等を図るため、教育施設等の相互利用、文化・スポーツ等に関する情報の交換及び人材の交流等、文化・スポーツの交流等を推進する。

| 備前市の役割 | 赤穂市の役割 |
|---|---|
| 赤穂市と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。 | 備前市と連携して、忠臣蔵、塩等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。 |
| 備前市の役割 | 上郡町の役割 |
| 上郡町と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。 | 備前市と連携して、古代山陽道や赤松氏等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。 |

| 事業名 | 巡回展開催事業 | 関係市町 |
|-------------|---|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 埋蔵文化財出土遺物の交流・展示会を次のとおり企画し、3市町の資料館等で巡回展示する。 平成24年度以降の発掘調査の成果の紹介、2市1町の特徴を示す埋蔵文化財・史跡等の紹介、特定テーマ展等についての展示を2市1町の資料館等を巡回して展示する。 | |
| 効果 | 圏内は古代より備前、播磨の接壤地帯にあり、学会的にも注目される地域である。このような圏域の特徴を再発見し、誇りの醸成に資するとともに、圏域内外の人的交流を活かした文化振興を図る。 | |
| 平成27年度事業の内容 | | |
| 1 | 担当者会議 平成27年5月21日 上郡町郷土資料館にて2市1町の担当者会議を実施。 | |
| 2 | 実施概要 テーマ「We LOVE 古墳展」 各市町の主要な古墳の解説及び出土遺物の展示を実施。 出品遺跡数 7遺跡（上郡3遺跡、赤穂2遺跡、備前2遺跡） 出品数 158点（上郡52点、赤穂46点、備前60点） ポスター・チラシ・パンフレット印刷 | |
| 3 | スケジュール 平成27年 9月15日～10月12日 上郡町郷土資料館にて巡回展実施。 | |

平成 27 年 10 月 14 日～11 月 16 日 備前市埋蔵文化財管理センターにて巡回展実施。
 平成 27 年 11 月 18 日～12 月 14 日 赤穂市立有年考古館にて巡回展実施。

4 入館者数

上郡町 277 人（開催日数 25 日）

備前市 218 人（開催日数 30 日）

赤穂市 184 人（開催日数 24 日）

事業費 469,243 円（予算額 500,000 円）

| 事業名 | 指定文化財・文化施設等巡りツアー事業 | 関係市町 |
|---|--|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 行政と民間で実行委員会を設立し、参加者を募集して備前陶器窯跡、赤穂城跡、上郡町郷土資料館等 3 市町の指定文化財・文化施設等をバスで巡るツアー、2 市 1 町で開催される歴史文化に触れる行事への共同参加等を実施する。 | |
| 効果 | 住民と行政の協働による実行委員会を設立して人的交流の裾野を広げるとともに、3 市町の指定文化財・文化施設等を巡るツアー、歴史文化体験行事への相互参加等を実施して、各市町文化の相互理解を深める。 | |
| 平成 27 年度事業の内容 | | |
| 平成 27 年度の指定文化財・文化施設等巡りツアーは実施しない。 *平成 28 年度と平成 30 年に実施予定。 | | |
| (予算額 ー円) | | |

| 事業名 | 図書館相互利用推進事業 | 関係市町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------------|-------|------|------|-------|------|-----|-------|-------|-----|-------|-----|-----|-----|------|-------|-----|-------|-----|-----|-----|------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | 関係市町の公立図書館及び関西福祉大学図書館の相互利用を促進するため、相互に利用案内を作成・設置するとともに、共通のポスター、チラシ、利用カードを作成する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 効果 | 公立図書館及び関西福祉大学附属図書館の利用にかかる利便性を向上し、住民サービスの向上を図る。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成 27 年度事業の内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 平成 23 年 4 月より備前市、赤穂市、上郡町、関西福祉大学の各図書館の相互利用を開始 利用案内ポスター・チラシ配布 各図書館登録状況（平成 28 年 3 月末現在） <table border="1" style="margin-left: 20px; width: 100%;"> <tr> <td>赤穂市から</td> <td>備前市</td> <td>19 人</td> <td>上郡町</td> <td>71 人</td> <td>関福大</td> <td>250 人</td> </tr> <tr> <td>備前市から</td> <td>赤穂市</td> <td>472 人</td> <td>上郡町</td> <td>7 人</td> <td>関福大</td> <td>30 人</td> </tr> <tr> <td>上郡町から</td> <td>赤穂市</td> <td>348 人</td> <td>備前市</td> <td>4 人</td> <td>関福大</td> <td>20 人</td> </tr> </table> | | | 赤穂市から | 備前市 | 19 人 | 上郡町 | 71 人 | 関福大 | 250 人 | 備前市から | 赤穂市 | 472 人 | 上郡町 | 7 人 | 関福大 | 30 人 | 上郡町から | 赤穂市 | 348 人 | 備前市 | 4 人 | 関福大 | 20 人 |
| 赤穂市から | 備前市 | 19 人 | 上郡町 | 71 人 | 関福大 | 250 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備前市から | 赤穂市 | 472 人 | 上郡町 | 7 人 | 関福大 | 30 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上郡町から | 赤穂市 | 348 人 | 備前市 | 4 人 | 関福大 | 20 人 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業費 340,000 円（予算額 340,000 円） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | |
|--|---|-------------|
| 事業名 | 図書館読書活動推進事業 | 関係市町 |
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 圏域市町の公立図書館及び関西福祉大学図書館の読書活動を推進するため、読書講演会を実施する。実施にあたっては、著名講師による講演会の開催を行う。上郡町は従前からの毎年実施を踏襲し、備前市及び赤穂市は隔年ごとの持ち回りにより実施する。 | |
| 効果 | 圏域市町の公立図書館及び関西福祉大学附属図書館における相互の連携により図書館サービスの向上と図書館利用の拡大促進を図る。 読書講演会の実施により圏域利用者の図書館利用サービスの推進を図る。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| <p>・平成27年5月31日（日） 第1回読書講演会開催 （於：上郡町生涯学習支援センター大ホール） 参加者 369名 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニングアトラクション ・第1部「死んでたまるか」出版記念講演会 講師：作家 伊東 潤氏 演題：「不撓不屈の男－大鳥圭介－」 ・第2部 記念対談「大鳥圭介にみる播磨人気質」 伊東 潤氏、播磨学研究所長 中元孝迪氏 司会：西田理恵 <p>・平成27年9月13日（日） 第2回読書講演会開催 （於：上郡町生涯学習支援センター大ホール） 参加者 255名 【内容】</p> <p>講師：海堂 崇 演題：「医療小説はおもしろい」</p> <p>・平成27年12月11日（金）第3回原画展及び講演会開催 ～17日（木）（於：上郡町生涯学習支援センター大ホール） 参加者 200名 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師：秋野和子氏 ・演題：原画で見るアキノイサムの世界 ・原画『ブクマインチャ』15点展示 | | |
| 事業費 800,000 円 （予算額 800,000 円） | | |

| 事業名 | 文化・スポーツ交流事業 | 関係市町 |
|---|---|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 文化事業やスポーツ大会等の開催情報を圏域全体に発信し、関係市町で実施する大会等に圏域住民のオープン参加を追加するなど、関係市町で実施する既存事業において圏域住民の参加を図る。また、スポーツ推進委員の連携による合同研修会や青少年のスポーツ交流のほか、関係市町で発行した文化関係図書等の交換を行う。 | |
| 効果 | 文化事業やスポーツ大会等に圏域住民の参加を促進して相互交流を深めるとともに、施設の利用促進を図る。他市町の住民やチームが参加することによるレベルアップも期待できる。また、行政間でも人的・物的交流による相互理解を深める。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年 4月11日(土) 備前&日生大橋マラソン大会 2市1町スポーツ推進委員が大会運営協力。 ・平成27年 5月28日(木) 2市1町スポーツ推進委員情報交換会 備前市教育委員会三石支所にて、平成27年度スポーツ推進委員の活動状況、今年度のスポーツ推進委員の交流大会や研修会、トップアスリート招聘事業について情報交換を実施。 ・平成27年 6月21日(日) 2市1町青少年スポーツ交流会 2市1町の小学生を対象に、上郡スポーツセンター総合体育館にて、NBL兵庫ストークスの上田康徳コーチと根来新之助選手、道原紀晃選手を招いてミニバスケットボールの実技講習会を実施し、86名が参加。 ・平成27年11月 8日(日) 第5回赤穂シティマラソン大会 2市1町のスポーツ推進委員が大会運営に協力。 ・平成28年 1月17日(土) 2市1町スポーツ推進委員合同実技研修会 上郡町スポーツセンター総合体育館にて、2市1町スポーツ推進委員合同の実技研修(囲碁ボール)及び交流会を実施。 | | |
| 事業費 597,720円 (予算額 640,000円) | | |

| 事業名 | 文化・スポーツ施設相互利用促進事業 | 関係市町 |
|---|---|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 圏域住民が関係市町の文化・スポーツ施設を同等の条件で利用することにより、圏域内における文化・スポーツ施設の相互利用促進を図る。 | |
| 効果 | 圏域住民が文化・スポーツ施設を平等に利用することにより、圏域内の文化・スポーツの振興、施設の利用促進及び住民の相互交流を図る。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| <p>東備西播定住自立圏域内（赤穂市、備前市、上郡町）の文化・スポーツ施設について、これまで他市町の住民に対して利用制限や割増料金などを設けていたが、文化・スポーツの振興、住民の相互交流を深めるため、3市町の住民が同じ条件で利用できるように関係条例等を一部改正した。</p> <p><広域利用対象施設></p> <p>[赤穂市]</p> <p>1) 文化関連施設 文化会館・市民会館・美術工芸館・歴史博物館・海洋科学館・民俗資料館・図書館</p> <p>2) スポーツ関連施設 城南緑地運動施設・市民総合体育館・野外活動センター・海浜スポーツセンター 元禄スポーツセンター</p> <p>[上郡町]</p> <p>1) 文化関連施設 生涯学習支援センター・郷土資料館・生きがい創造センター</p> <p>2) スポーツ関連施設 スポーツセンターB&G</p> <p>[備前市]</p> <p>1) 文化関連施設 市民センター・吉永地域公民館・加子浦歴史文化会館・八塔寺ふるさと村民民俗資料館・図書館（本館）・図書館（日生分館）・図書館（吉永分館）・吉永美術館・歴史民俗資料館・日生市民会館</p> <p>2) スポーツ関連施設 総合運動公園・三石運動公園施設・日生運動公園施設・吉永B&G海洋センター・頭島グランドゴルフ場・伊部運動公園・浜山運動公園・日生武道場・吉永テニスコート</p> <p><広域利用開始時期> 平成23年4月1日</p> | | |
| (予算額 ー円) | | |

| | | |
|--|---|-------------|
| 事業名 | トップアスリート等招聘事業 | 関係市町 |
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 国内外で活躍するトップアスリートやトップチームを招聘し、一部観客参加イベントを実施するなどの魅力あるスポーツイベントを3市町の体育施設で開催する。 | |
| 効果 | 高いレベルのパフォーマンスにより、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツの裾野を広げ、競技レベルの向上に繋げる。 また、事業実施にあたっては、関連する競技団体やスポーツ団体と連携し、住民相互の交流を図る。 | |
| 平成27年度事業の内容 | | |
| <p>・平成27年5月28日（木）2市1町事業担当者会を実施。</p> <p>1) 平成27年度の事業内容及び役割分担について協議。</p> <p>1. サッカーイベント</p> <p>1) 期 日 平成27年 6月14日（日）10:00～15:00</p> <p>2) 会 場 赤穂海浜公園スポーツセンター</p> <p>3) 内 容 2市1町の小中学生を対象に、アトランタ五輪に出場した森岡茂氏とヴィッセル神戸の近藤岳登氏・紀氏隆秀氏によるサッカー教室を実施。</p> <p>4) 参加人数 282名</p> <p>2. ソフトテニスイベント</p> <p>1) 期 日 平成27年 9月6日（日）9:00～12:00</p> <p>2) 会 場 上郡町スポーツセンター総合体育館及びB&G体育館</p> <p>3) 内 容 2市1町の小中学生を対象に、元全日本選手権大会の優勝者で日本ソフトテニス連盟公認コーチの浅川陽介氏と、同じく元全日本選手権大会の優勝者で日本ナショナルコーチの高川経夫氏によるソフトテニス教室を実施。</p> <p>4) 参加人数 95名</p> <p>3. テニスイベント</p> <p>1) 期 日 平成27年11月23日（月祝）10:00～13:00</p> <p>2) 会 場 備前市総合運動公園備前テニスセンター</p> <p>3) 内 容 2市1町の小中学生を対象に、元全日本選手権大会の優勝者で北京五輪代表監督の竹内映二氏と元全日本選手権大会の優勝者で全豪オープン出場の木村剛一氏によるテニス教室を実施。</p> <p>4) 参加人数 95名</p> | | |
| 事業費 3,084,524円 （予算額 3,100,000円） | | |

| | | |
|---|--|-------------|
| 事業名 | 中学校吹奏楽部交流助成事業 | 関係市町 |
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 3市町の教育委員会が、音楽を通じた地域活性化に取り組む市民団体「3Mプロジェクト」と連携して実施する3市町の中学校吹奏楽部交流事業に対して、助成を行う。 | |
| 効果 | 圏域の中学校吹奏楽部の交流の場を確保し、住民交流を促進するとともに、世界的演奏家の指導等により、音楽技術の向上を図る。 | |
| 平成27年度事業の内容 | | |
| 1) 実施日 平成27年10月24日(土) 9:00~17:00 2) 会場 兵庫県先端科学技術支援センター(上郡町) 3) 内容 2市1町の中学校吹奏楽部がプロのミュージシャンとコラボレーションする交流演奏会を実施。 4) 参加人数 114名 | | |
| 事業費 800,000円 (予算額 800,000円) | | |

| | | |
|--|---|-------------|
| 事業名 | 子ども科学教室開催事業 | 関係市町 |
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 赤穂市海洋科学館を学習拠点施設として、圏域内の小学生を対象とした子ども科学教室を開催する。 | |
| 効果 | 自然科学への興味や学習意欲の向上を図り、合わせて圏域内の子どもの交流を推進する。 | |
| 平成27年度事業の内容 | | |
| 1) 実施日 平成28年3月5日(土) 2) 会場 赤穂市立海洋科学館 3) 内容 2市1町の小学生を対象に、塩づくり体験等の実験教室を実施。 4) 参加人数 30名 | | |
| 事業費 466,458円 (予算額 600,000円) | | |

| 事業名 | 赤穂市生涯学習施設整備事業 | 関係市町 |
|--|--|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 赤穂市立海洋科学館は、圏域における自然科学の学習拠点施設の役割を担う施設であるが、開館から27年経過し、展示内容が老朽化しているため、大規模な展示内容の改修を実施し、学習拠点施設として魅力的な施設整備を図る。 | |
| 効果 | 老朽化した展示内容を改修することにより、圏域住民にとってより魅力的な自然科学学習の拠点となり、学習意欲の向上に資することができる。 | |
| 平成27年度事業の内容 | | |
| 1. 赤穂市立海洋科学館 1) アクアテーブル設置工事 経年劣化による改修工事を実施。 ① 工期 平成27年7月15日～平成28年2月29日 ② 執行額 19,589,040円 | | |
| 事業費 19,589,040円 (予算額 20,000,000円) | | |

| 事業名 | 備前市生涯学習施設整備事業 | 関係市町 |
|---|--|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 市民センター及び日生市民会館は、「図書館相互利用推進事業」の拠点施設となる図書館を含む複合施設であり、図書館相互利用をはじめ 圏域住民による文化振興、住民交流等を促進する場として重要な役割を果たしているため、経年劣化により改修の必要性がある施設設備等の整備を行う。 | |
| 効果 | 圏域住民の利用に必要な施設の整備を行い、図書館相互利用推進事業の推進を図るとともに、圏域内の生涯学習機会の充実、文化振興及び住民交流の促進を図る。 | |
| 平成27年度事業の内容 | | |
| 1. 日生市民会館 1) 外壁改修工事 経年劣化による改修工事を実施。 ① 工期 平成27年9月7日～平成28年1月29日 ② 執行額 24,298,920円 | | |
| 事業費 24,298,920円 (予算額 26,768,000円) | | |

| | | |
|--|---|-------------|
| 事業名 | 上郡町スポーツ施設整備事業 | 関係市町 |
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 上郡町スポーツセンターは、圏域市町間における「スポーツ施設相互利用推進事業」をはじめ、各種圏域事業による圏域住民のスポーツ振興、住民交流を促進する場として重要な役割を果たす拠点施設であるが、経年劣化により改修の必要性がある施設設備等の整備を行う。 | |
| 効果 | 圏域住民の交流・利用に必要な施設の整備を行い、スポーツ施設相互利用推進事業をはじめとする圏域住民のスポーツの振興及び住民交流の促進を図る。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| <p>1. 上郡町スポーツセンター</p> <p>1) 施設整備</p> <p>経年劣化による施設整備を実施。</p> <p>① 工期 平成27年4月16日～平成28年3月28日</p> <p>② 執行額 14,639,033円</p> | | |
| 事業費 14,639,033円 (予算額 15,000,000円) | | |

(イ) 学校給食の広域連携

○取組の内容

圏域における学校給食の充実を図るため、学校給食施設の広域連携を図る。

| 備前市の役割 | 赤穂市の役割 |
|------------------------------------|--|
| 技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。 | 技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。 |
| 備前市の役割 | 上郡町の役割 |
| 技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。 | 学校給食施設を建設するにあたり、備前市及び赤穂市と連携して、施設運営の技術的交流に取り組むことにより、圏域における学校給食の充実を図る。 |

| 事業名 | 学校給食連携事業 | 関係市町 |
|---|--|-------------|
| | | 上郡町・備前市・赤穂市 |
| 事業内容 | 圏域内の学校給食の運営において、市町間の食材に関する情報交換や相互の献立を活用するなど、地産地消の手法等の広域連携を行う。 | |
| 効果 | 圏域内の食材を活用した学校給食の提供、食育を通じて、地域の食材について理解を深めるとともに、圏域内での地産地消の推進を図る。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| <p>○給食部会担当者会の実施</p> <p>(1) 開催日時 平成 27 年 7 月 21 日 (火)</p> <p>(2) 開催場所 上郡町学校給食センター</p> <p>(3) 内 容 ・地元食材の相互活用等圏域市町間の連携について ・平成 27 年度学校給食連携事業の取り組みについて</p> <p>○岡山県学校給食会との協議</p> <p>(1) 開催日時 平成 28 年 3 月 9 日 (水)</p> <p>(2) 開催場所 岡山県学校給食会 (岡山市)</p> <p>(3) 内 容 ・備前市の食材を使用するための手法について ・備前市産の特産品開発の可能性及び今後の連携事業への協力について</p> <p>○特産品・地産地消給食レシピ集の作成</p> <p>(1) 目 的 各市町の特産品を使った給食のレシピや郷土料理を紹介し、特産品の拡大や児童等の地域への理解と関心を深めることを目的に「特産品・地産地消給食レシピ集」を作成した。(A3 版両面カラー刷 9,600 枚)</p> | | |
| 事業費 79,960 円 (予算額 100,000 円) | | |

【ウ. 産業振興】

（ア）地産地消の推進及び地域ブランドの発掘

○取組の内容

地産地消の推進及び地域ブランドの発掘を図るため、圏域内の事業体に対して既存商品の再発掘、改良及び新商品の開発等について必要な支援を行うとともに、各種イベントの実施や既存施設の空きスペース等の活用により情報を発信する。

| 備前市の役割 | 赤穂市の役割 |
|---|---|
| 赤穂市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。 | 備前市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等について総合的な調整を行うとともに、必要な支援及び情報発信を行う。 |
| 備前市の役割 | 上郡町の役割 |
| 上郡町及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。 | 備前市及び赤穂市、並びに関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。 |

| 事業名 | 地域ブランド発掘事業 | | 関係市町 | |
|-------------------------------|--|--------------|-------------|----|
| | | | 赤穂市・備前市・上郡町 | |
| 事業内容 | 圏域の魅力を内外に発信するため、農商工業者等によるイベントの開催や出店支援、新製品開発の支援等、地域ブランド発掘のための事業を行う。 | | | |
| 効果 | 地域に埋もれた農林水産物やそれらを活用した商品の販路拡大、特産品開発を支援することで、圏域経済を活性化し、生産者等の意欲向上を図るとともに、圏域市町の名を全国に発信し、知名度の向上を図る。 | | | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | | | |
| 【実施内容】 | | | | |
| 地域ブランド発掘支援金の交付 | | | | |
| | 支援対象者 | 内容 | 金額（円） | 備考 |
| 1 | 上郡町観光協会 | 特産品販売促進のぼり作成 | 200,000 | |
| 2 | 赤穂農業後継者の会 (潮風と大地) | 赤穂塩ベジタブルの試作 | 200,000 | |
| 事業費 400,000 円 （予算額 500,000 円） | | | | |

(イ) 観光振興の推進

○取組の内容

観光振興による地域産業の活性化を図るため、地域の観光資源の発掘やその魅力を活かした観光ルートの設定、旅行代理店等へのPR及びガイドブックの作成を行う。

| 備前市の役割 | 赤穂市の役割 |
|--|---|
| (a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 赤穂市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。 | (a) 忠臣蔵、塩等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 旅行代理店等と連携、調整を図り、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。 |
| 備前市の役割 | 上郡町の役割 |
| (a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 上郡町と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 上郡町と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。 | (a) 古代山陽道や赤松氏等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 備前市及び赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。 |

| 事業名 | 観光振興推進事業 | 関係市町 |
|--|---|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | <p>単独の市町では設定できない魅力的な観光ルートを、関係市町が連携して設定し、広域的な観光ガイドブックを作成する。さらに、観光キャンペーン等での情報発信や誘客活動を共同で行う。</p> <p>なお、事業の実施にあたっては、外部アドバイザーの招へい等を行い、事業の円滑な推進を図る。</p> | |
| 効果 | <p>知名度の高い観光資源を有効に組み合わせて活用するとともに、海、山、川など豊かな自然環境や景観を活かした新たな観光資源の開発の検討もを行い、圏域全体での観光振興の推進を図る。</p> | |
| 平成27年度事業の内容 | | |
| <p>1. 観光部会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回観光部会担当者会議 <ul style="list-style-type: none"> 期日 平成27年8月19日(水) 会場 赤穂市役所 内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ関西「谷五郎の笑って暮らそう」の公開生放送の実施について ・観光キャンペーンの実施について ・第2回観光部会担当者会議 <ul style="list-style-type: none"> 期日 平成28年2月18日(木) 会場 赤穂市役所 内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅宿場町ひらふく」での観光キャンペーンの実施について ・平成28年度事業計画案について | | |

2.ラジオ関西「谷五郎の笑って暮らそう」公開生放送の実施

【備前市】

開催日時 平成27年10月31日（土）

実施会場 備前市 閑谷学校

内 容 地域のゲストを招き、備前市を中心とした各市町の観光情報の告知など

【上郡町】

開催日時 平成27年12月5日（土）

実施会場 上郡町観光案内所

内 容 地域のゲストを招き、上郡町を中心とした各市町の観光情報の告知など

3. 観光キャンペーン事業の実施

日時 平成28年3月5日（土）

場所 道の駅 宿場町ひらふく

内容 ・各市町による観光パンフの配布及び特産品の販売
・「赤穂義士娘」、「備前焼小町」による観光 PR
・各市町のゆるキャラによる観光 PR

4. 各市町観光 PR ノベルティの作成

二市一町観光 PR 用 A4 版クリアファイル 作成枚数 1,500 部

事業費 773,412 円 （予算額 1,500,000 円）

(ウ) 鳥獣害防止総合対策

○取組の内容

圏域内の農業被害の軽減及び山村の機能を保全するため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号）に基づき、各市町が策定した被害防止計画に定めた鳥獣被害防止対策を総合的に進める。

| 備前市の役割 | 赤穂市の役割 |
|--|--|
| (a) 関係住民等との連携を図り、赤穂市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 赤穂市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。 | (a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して鳥獣被害防止計画を策定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。 |
| 備前市の役割 | 上郡町の役割 |
| (a) 関係住民等との連携を図り、上郡町と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 上郡町と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。 | (a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。 |

| 事業名 | 有害鳥獣対策事業 | 関係市町 |
|--|---|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 圏域内各市町の共通課題である野生動物対策について、効果的な獣害低減策に関する情報共有化や獣害防護柵の設置支援を実施するとともに、現場で有害鳥獣駆除に携わる各市町の猟友会の活動の側面的支援を行う。 | |
| 効果 | 圏域内の関係団体が一体となった取組を進めることにより、農作物等への被害を抑制し、イノシシやシカなどの生息状況や生息環境の情報を共有しながら効果的な対策を講じることができる。また、各市町で実際の有害鳥獣駆除業務を担う猟友会の活動支援を行うことで、駆除頭数の増加を図る。 | |
| 平成27年度事業の内容 | | |
| 【実施内容】 | | |
| 1. 猟友会（捕獲班）活動用資材現物支給 捕獲活動関係消耗品 支出済額 283,982円（ダニ用殺虫剤等） | | |
| 2. 獣害防護柵設置・捕獲わな購入補助金 支出済額 1,299,800円（防護柵設置補助金） | | |
| 事業費 1,583,782円（予算額 3,000,000円） | | |

(エ) 企業誘致の推進

○取組の内容

圏域経済の活性化を図るため、連携して企業誘致に必要な情報の発信を行う。

| 備前市の役割 | 赤穂市の役割 |
|--|---|
| 企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。 | 大阪市等の主要な都市部における企業誘致説明会の開催等により、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。 |
| 備前市の役割 | 上郡町の役割 |
| 企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。 | 企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。 |

| 事業名 | 企業誘致促進事業 | 関係市町 |
|--|--|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 市町等が所有する工業団地用地や民間の未利用地等への企業立地及び既存企業の設備投資による事業拡張を促進するため、企業の投資情報等の収集活動など企業誘致活動を推進する。 | |
| 効果 | 住民の雇用の安定及び拡大を図るため、圏域への企業誘致と合わせて既存企業の事業拡張を促進し、圏域経済の拡大及び定住人口の確保を図り、圏域全体の活性化を推進する。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| <p>効果的な企業誘致活動を推進するため、圏域内の事業所等の企業概要データを取得するとともに、企業進出意向確認調査を実施し、事業所等の現状、課題、ニーズや今後の動向等を把握、集計、分析を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致現状分析並びに企業進出意向確認調査業務委託 <ul style="list-style-type: none"> 受託者 株式会社 帝国データバンク 契約期間 平成27年8月24日～平成27年9月30日 委託金額 1,793,880円 | | |
| 事業費 1,983,198円 (予算額 2,300,000円) | | |

むすびつきやネットワークの強化

【ア. 地域公共交通】

(ア) 地域公共交通ネットワークの構築

○取組の内容

圏域内住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について継続的に調査、検証するとともに、バス路線の充実・構築及びJR山陽本線、赤穂線の利便性向上に取り組む。

| 備前市の役割 | 赤穂市の役割 |
|---|--|
| (a) 赤穂市と協力、連携して両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) JRの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。 | (a) 圏域内住民の移動手段を確保するため、両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) JRの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけを行う。 |
| 備前市の役割 | 上郡町の役割 |
| (a) 上郡町と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) JRの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。 | (a) 備前市及び赤穂市と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) JRの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけを行う。 |

| 事業名 | 圏域バス運行事業 | 関係市町 |
|-----------------------------------|--|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 圏域内において関係市町間を結ぶ公共交通ネットワークを構築するため、圏域バスを運行する。 | |
| 効果 | 公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。 | |
| 平成27年度事業の内容 | | |
| 【運行実績】下記のとおり | | |
| 事業費 28,970,503円 (予算額 30,650,000円) | | |

圏域バス運行状況一覧表

| 区分/月 | 総括 | | | | | 上郡ルート | | | | | 備前ルート | | | | |
|-------|------|--------|---------|---------|--------------|-------|-------|---------|---------|--------------|-------|-------|---------|---------|--------------|
| | 運行日数 | 利用者総数 | 1日当り利用数 | 1便当り利用数 | 市町域越1便当り利用者数 | 運行日数 | 利用者総数 | 1日当り利用数 | 1便当り利用数 | 市町域越1便当り利用者数 | 運行日数 | 利用者総数 | 1日当り利用数 | 1便当り利用数 | 市町域越1便当り利用者数 |
| 27.4 | 26 | 1,174 | 45.2 | 5.6 | 3.7 | 26 | 714 | 27.5 | 6.9 | 3.9 | 26 | 460 | 17.7 | 4.4 | 3.4 |
| 27.5 | 26 | 1,031 | 39.7 | 5.0 | 3.3 | 26 | 640 | 24.6 | 6.2 | 3.6 | 26 | 391 | 15.0 | 3.8 | 2.9 |
| 27.6 | 26 | 1,184 | 45.5 | 5.7 | 3.5 | 26 | 785 | 30.2 | 7.5 | 4.2 | 26 | 399 | 15.3 | 3.8 | 2.8 |
| 27.7 | 27 | 1,152 | 42.7 | 5.4 | 3.1 | 27 | 721 | 26.7 | 6.7 | 3.5 | 26 | 431 | 16.6 | 4.1 | 2.8 |
| 27.8 | 26 | 1,037 | 39.9 | 5.0 | 3.3 | 26 | 612 | 23.5 | 5.9 | 3.3 | 26 | 425 | 16.3 | 4.1 | 3.3 |
| 27.9 | 26 | 991 | 38.1 | 4.8 | 3.2 | 26 | 603 | 23.2 | 5.8 | 3.5 | 26 | 388 | 14.9 | 3.7 | 2.8 |
| 27.10 | 27 | 1,099 | 40.7 | 5.1 | 2.8 | 27 | 737 | 27.3 | 6.8 | 3.3 | 27 | 362 | 13.4 | 3.4 | 2.4 |
| 27.11 | 25 | 843 | 33.7 | 4.2 | 2.6 | 25 | 547 | 21.9 | 5.5 | 3.1 | 25 | 296 | 11.8 | 3.0 | 2.1 |
| 27.12 | 24 | 981 | 40.9 | 5.1 | 3.4 | 24 | 593 | 24.7 | 6.2 | 3.7 | 24 | 388 | 16.2 | 4.0 | 3.1 |
| 28.1 | 24 | 785 | 32.7 | 4.1 | 2.6 | 24 | 436 | 18.2 | 4.5 | 2.3 | 24 | 349 | 14.5 | 3.6 | 2.9 |
| 28.2 | 25 | 844 | 33.8 | 4.2 | 2.7 | 25 | 540 | 21.6 | 5.4 | 3.0 | 25 | 304 | 12.2 | 3.0 | 2.4 |
| 28.3 | 27 | 1,007 | 37.3 | 4.7 | 3.0 | 27 | 631 | 23.4 | 5.8 | 3.4 | 27 | 376 | 13.9 | 3.5 | 2.7 |
| 合計 | 309 | 12,128 | 39.2 | 4.9 | 3.1 | 309 | 7,559 | 24.5 | 6.1 | 3.4 | 308 | 4,569 | 14.8 | 3.7 | 2.8 |

| | | |
|---|---|-------------|
| 事業名 | J R 利便性向上事業 | 関係市町 |
| | | 備前市・赤穂市・上郡町 |
| 事業内容 | J R 山陽本線、赤穂線を利用する住民や圏域を訪れる人たちの移動手段と利便性の向上を図るため、関係市町により J R 西日本等関係機関への働きかけを行う。 | |
| 効果 | 公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。 | |
| 平成 27 年度 事業 の 内 容 | | |
| <p>◆ J R への要望会（兵庫・岡山両県境隣接市町村進行協議会、兵庫県、岡山県）</p> <p>平成 28 年 2 月 8 日 J R 西日本神戸支社要望会</p> <p>平成 28 年 2 月 12 日 J R 西日本岡山支社要望会</p> | | |
| 事業費 36,860 円 （予算額 130,000 円） | | |

【イ. ICTインフラ整備】

(ア) 地域情報ネットワークシステムの構築

○取組の内容

圏域内の地域情報を、行政、各種団体、個人が、インターネットを介し、容易に発信や入手できる地域コミュニティサイトの構築に取り組む。

| 備前市の役割 | 赤穂市の役割 |
|---------------------------------------|--|
| 地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に赤穂市と協力して取り組む。 | 地域コミュニティサイトを検討する会議を主催し、地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営を行う。 |
| 備前市の役割 | 上郡町の役割 |
| 地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に上郡町と協力して取り組む。 | 地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に備前市及び赤穂市と協力して取り組む。 |

| 事業名 | 地域情報活性化事業 | 関係市町 |
|---|--|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 圏域内の地域情報の交流と活性化を図り、魅力ある圏域を形成するため、ICT技術を活用した地域SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を推進する。 | |
| 効果 | 公式ホームページによる行政情報は行政からの一方通行であるが、地域SNSは、行政と住民、住民と住民など、双方向から発信することができるため、関係市町間及び行政と住民間の情報共有並びに地域社会及び地方行政への住民参画を図る。 | |
| 平成27年度事業の内容 | | |
| 地域SNSを引き続き運用 圏域ホームページを兼ねた地域ポータルサイトを、事業者の独立採算に切り替えて運用し、地域コミュニティの活性化を図った。 平成27年4月 ともりんく啓発リーフレットを追加印刷し、各市町の窓口等への配布 | | |
| 事業費 30,000円 (予算額 30,000円) | | |

【ウ. 地域内外の住民との交流・移住促進】

住民交流

○取組の内容

圏域内の住民交流を活性化させるため、赤穂国際音楽祭等住民交流に資するイベント等を実施又は支援し、にぎわいの創出、相互の理解を深める。

| 備前市の役割 | 赤穂市の役割 |
|---|--|
| 赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。 | 赤穂国際音楽祭等の開催に向けて必要な調整を行うとともに、備前市と連携して住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。 |
| 備前市の役割 | 上郡町の役割 |
| 上郡町と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。 | 備前市及び赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。 |

| 事業名 | 民間イベント等助成事業 | 関係市町 |
|--|---|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 民間事業者等が行うイベントで、圏域内の複数の市町において実施するとともに、圏域内外の住民交流の促進と賑わいの創出、相互の理解を深めるために実施するものに対し、助成を行う。 | |
| 効果 | 住民の交流を促進するとともに、住民自身の直接参画によるイベント等の開催を支援することにより、住民と行政の協働による圏域づくりを目指した取り組みを進める。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度応募団体 17団体 ・平成27年4月26日開催の公開審査（赤穂市役所）において、次の17事業について支援を決定した。 | | |
| 事業費 3,007,052 円 （予算額 3,060,000 円） | | |

| | 活動事業名 | 事業概要 |
|----|--|--|
| | 団体名 | |
| 1 | 東備西播定住自立圏城市町 第6回親善ゲートボール大会 | ゲートボール愛好者及び高齢者の健康増進と圏域住民の交流・親睦を図ることを目的に、9月に備前市吉永町B&G海洋センターでゲートボール大会を開催します。 |
| | 東備西播定住自立圏城市町ゲートボール協議会 | |
| 2 | 忠臣蔵交流囲碁大会及びこども囲碁教室の開催 | 3市町の囲碁愛好家が連携し、世代間交流の場として12月に赤穂市文化会館において忠臣蔵交流囲碁大会を開催し、毎月1回、赤穂楽碁会囲碁サロンにおいて月例ふれあい囲碁大会を開催するとともに、囲碁を次世代に伝承するため、こども囲碁教室を開催します。 |
| | 忠臣蔵交流楽碁会 | |
| 3 | 幼児から高齢者までサッカーを通じた健康づくり、仲間づくり及び地域づくりの推進 | スポーツを通じ世代、地域をこえた交流を図るため、3市町の小学生と高校生、社会人のサッカー交流イベント及び中学生及び社会人を対象とした地域交流サッカー大会を開催します。 |
| | エンジョイサッカー実行委員会 | |
| 4 | ほたるのタベ | 6月に五石川沿いでほたるの観賞会を開催し、イベントや模擬店の出店をします。(新規) |
| | 五石自治会 | |
| 5 | 障害者スポーツ交流事業 AKBパラリンカップ | 3市町および周辺地域の障がい者、家族及びボランティアの方の運営により、多種多様な分野の人が気軽に参加できるスポーツ交流事業を実施します。 |
| | AKBパラリンカップ委員会 | |
| 6 | 第4回赤穂市・備前市・上郡町 定住自立圏推進交流ターゲットバードゴルフ大会 | 11月に千種川河川敷において開催するターゲットバードゴルフ大会を通じ、3市町の交流を図るとともに、生涯スポーツとして健康づくりにも寄与します。 |
| | 赤穂市ターゲットバードゴルフ協会 | |
| 7 | 第2回東備西播定住自立圏ペタンク交流大会 | 1月に関西福祉大学でペタンク大会を実施し、3市町の交流を図るとともに、競技人口の増加を促進します。 |
| | 赤穂市ペタンク協会 | |
| 8 | テニス大会 | 3市町のスポーツ振興と交流を図ることを目的に、7月に赤穂海浜公園テニスコートでダブルステニス大会を実施します。 |
| | 赤穂市テニス協会 | |
| 9 | 赤穂で街コン！47×47 ～義士の街で大願成就～ | 12月に赤穂市内飲食店舗において交流事業を実施することで、若年男女の出会いの場を提供し、圏域内への定住や地域の活性化を促進します。 |
| | 赤穂街コン実行委員会 | |
| 10 | 有年の里1日美術館とコンサート | 東有年堤防等で花壇等の世話をし、コスモスや彼岸花が咲き乱れる美しい有年を近隣地域に発信すべく、9月に1日美術館とコンサートを開催します。(新規) |
| | 有年の里花いっぱいになあれの会 | |
| 11 | 第6回赤穂市・備前市・上郡町 定住自立圏推進交流中学軟式野球大会 | 3市町のスポーツ交流を目的に、上郡町1中学校、赤穂市5中学校、備前市5中学校の11チームにより、10月に赤穂城南緑地公園野球場及び上郡町スポーツセンター野球場において軟式野球大会を開催します。 |
| | 赤穂軟式野球協会 | |
| 12 | 赤穂の地で誓う忠臣蔵ウエディング | 「忠臣蔵ウエディング」の募集を、2市1町で行うことで若者世代に結婚に関心を持ってもらい、出生率の向上と子育て世代の増加につなげます。(新規) |
| | 忠臣蔵ウエディング実行委員会 | |
| 13 | 第1回東備西播定住自立圏春季バレーボール大会 | 2月に赤穂市民総合体育館で家庭バレーボール大会を開催し、家庭バレーボールを通じて健康と体力増進を図り、3市町交流と親睦を深めます。(新規) |
| | 赤穂市家庭バレーボール連絡会 | |
| 14 | AKB杯ソフトバレーボール大会 | 3市町の交流を目的としたソフトバレーボール大会を11月に備前市総合運動公園で開催するとともに、体力づくりや健康維持、コミュニケーションづくりに寄与します。 |
| | 備前市バレーボール連盟 | |
| 15 | AKBカップミニバスケットボール大会 | 3市町の小学生と住民のスポーツを通じた交流を目的に、1月に赤穂市民総合体育館などでミニバスケットボール大会を実施します。 |
| | 赤穂市バスケットボール協会 | |
| 16 | 上郡ダンスフェスティバル ～K・D・F～ | 8月に、上郡町役場前の親水公園において、近隣のダンスチームによるヒップホップダンスの披露と、農作物や伝統芸能などの地域資源をPRするイベントを実施します。 |
| | 特定非営利活動法人 円心 | |
| 17 | 戦国武将よろいカブト交流事業2015 | 圏域内の歴史資源を活かした文化交流を図るため、赤松円心ゆかりの地らしく、親子などで手づくりのよろいカブトを作成し、11月の「白旗城まつり」12月の「赤穂義士祭」などにおいて行列を披露します。 |
| | 赤松地区むらづくり推進委員会 | |

| 事業名 | 赤穂国際音楽祭開催助成事業 | 関係市町 |
|---|--|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 圏域内外の住民交流を促進し、住民の賑わいを創出するために行う赤穂国際音楽祭の開催に対して助成を行う。 | |
| 効果 | 圏域の魅力を赤穂国際音楽祭を通して日本全国、世界に発信するとともに、住民参加により地域に根ざしたイベントとして充実・発展させる。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| <p>ル・ポン国際音楽祭 2015 赤穂・姫路として、姫路との共催により開催</p> <p>◆ル・ポン国際音楽祭 開催日：平成27年10月23日（金）～29日（木） 定住自立圏枠設置日 10月24日（土）、27日（火） 赤穂会場：赤穂市文化会館ハーモニーホール、赤穂城跡特設会場</p> <p>◆定住自立圏チケットを200席分確保し、備前市民及び上郡町民向けに販売。（実績＝84席） ◆定住自立圏チケット購入者には、備前市役所、日生支所及び上郡町役場を発着とする送迎バスを運行予定。</p> | | |
| 事業費 1,000,000 円 （予算額 1,000,000 円） | | |

| 事業名 | こどもと学生のふれあい活動支援事業 | 関係市町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------------------|---------|-------|-----------------|-------|------|--|-------|---|---|------|--|-------|----------------|---|-----|--|--------|-------------------|---|-----|--|--------|---------------|---|-----|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | 圏域内の大学である関西福祉大学が実施する学生ボランティアによるこどものための宿題教室等、こどもと学生がふれあう活動を支援する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 効果 | 圏域内のこども達の学力向上を図るとともに、世代間交流により、社会性を備えた豊かな心を育む。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【実施日】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成27年8月</td> <td>6日（木）</td> <td>赤穂市（関西福祉大学内の教室）</td> <td>参加小学生</td> <td>149名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7日（金）</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>121名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9日（日）</td> <td>備前市（備前市市民センター）</td> <td>〃</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10日（月）</td> <td>上郡町（交流広場「菊森さんの家」）</td> <td>〃</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11日（火）</td> <td>〃（生涯学習支援センター）</td> <td>〃</td> <td>28名</td> </tr> </table> | | | 平成27年8月 | 6日（木） | 赤穂市（関西福祉大学内の教室） | 参加小学生 | 149名 | | 7日（金） | 〃 | 〃 | 121名 | | 9日（日） | 備前市（備前市市民センター） | 〃 | 13名 | | 10日（月） | 上郡町（交流広場「菊森さんの家」） | 〃 | 27名 | | 11日（火） | 〃（生涯学習支援センター） | 〃 | 28名 |
| 平成27年8月 | 6日（木） | 赤穂市（関西福祉大学内の教室） | 参加小学生 | 149名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 7日（金） | 〃 | 〃 | 121名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 9日（日） | 備前市（備前市市民センター） | 〃 | 13名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 10日（月） | 上郡町（交流広場「菊森さんの家」） | 〃 | 27名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 11日（火） | 〃（生涯学習支援センター） | 〃 | 28名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業費 73,363 円 （予算額 110,000 円） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | |
|-------------------------------|--|-------------|
| 事業名 | 地域連携フォーラム支援事業 | 関係市町 |
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 圏域内の大学である関西福祉大学が、「地域住民の幸せづくり」を目的として、「福祉」、「看護」、「教育」の視点から、様々な地域課題の問題解決に向けて取り組むために開催する「地域連携フォーラム」に対して支援する。 | |
| 効果 | 圏域内の多様な地域に関する課題に対し、地域を支える様々な分野の関係団体や、地域住民が「地域住民の幸せづくり」のために集い、話し合うことにより、問題解決の糸口を見つけるとともに、関係団体や住民相互の交流を図り、安心して幸せに暮らしている圏域づくりを推進する。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| 名 称 | 第 1 回 関西福祉大学地域連携フォーラム「地域の力をつなぐー暮らし、いのち、まなびー」 | |
| 開 催 日 | 平成 27 年 5 月 23 日 (土) | |
| 場 所 | 関西福祉大学 | |
| 内 容 | 基調講演「地域の力をつなぐ」 第 1 分科会「地域を元気にするしくみづくり」 第 2 分科会「教育を核としたコミュニケーションづくり」 第 3 分科会「住み慣れた地域で安心して暮らすために -みんなで考える在宅医療-」 | |
| 参 加 者 | 基調講演 424名 第 1 分科会 101名 第 2 分科会 117名 第 3 分科会 112名 | |
| 事業費 720,000 円 (予算額 720,000 円) | | |

移住の促進

○取組の内容

圏域外からの人の流れを創出し魅力ある圏域を作るため、連携して移住情報の発信を行う。

| 備前市の役割 | 赤穂市の役割 |
|-------------------------------|--|
| 定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。 | 神戸市等の主要な都市部における定住相談会の開催等により、圏域の移住情報の発信を行う。 |
| 備前市の役割 | 上郡町の役割 |
| 定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。 | 定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。 |

| 事業名 | 定住相談会開催等事業 | 関係市町 |
|---|---|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 関係市町合同による定住相談会を神戸市等の主要な都市部で開催し、各市町で実施している定住支援策等の情報を発信し、移住希望者の定住先として本圏域を選択してもらえるよう定住促進事業を実施する。 | |
| 効果 | 住んでみたいと感じてもらえる魅力のある圏域づくりに努め、その情報を圏域外へ発信するとともに、圏域の存在をアピールして、圏域外からの移住及び交流人口の増加を図る。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| ◆大阪会場 | | |
| 「ふるさと回帰フェア2015 in大阪」に参加 開催日：平成27年8月22日（土） 開催場所：シティプラザ大阪 内 容：3市町職員による定住相談会 | | |
| 「東備西播定住自立圏形成推進協議会定住相談会」を開催 開催日：平成28年2月20日（土） 場 所：マイドーム大阪 内 容：3市町職員による定住相談会 | | |
| ◆神戸会場 | | |
| 「東備西播定住自立圏形成推進協議会定住相談会」を開催 開催日：平成28年3月19日（土） 場 所：神戸国際会館 内 容：3市町職員による定住相談会 | | |
| 事業費 1,256,351 円 （予算額 1,558,000 円） | | |

| | | |
|---|---|-------------|
| 事業名 | 縁結び事業 | 関係市町 |
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 単独の市町では企画できない圏域の魅力ある資源を活用した出会いイベントを開催。 | |
| 効果 | 圏域内の魅力ある資源の再発見や圏域外への情報発信ができる。また、圏域内外の住民の縁結びのきっかけをつくる。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| <p>『谷五郎と行く縁結びバスツアー』</p> <p>■開催日時 2015年9月13日(日) 9:00~18:30</p> <p>■内 容 東備西播定住自立圏域の男性(30名)と関西圏の女性(当圏域居住者を除く30名)が、パーソナリティー谷五郎氏と田名部真理氏のもと、当圏域の観光スポット等を巡り縁を深める。</p> <p>■応募状況 男性：備前市(14人)、上郡町(8人)、赤穂市(16人) 女性：79人 ※応募者の抽選はラジオ関西により実施</p> <p>■参加状況 男性：備前市(10人)、上郡町(7人)、赤穂市(12人) 女性：30人</p> <p>■活動内容 (赤穂市) 赤穂市立野外活動センター：フリータイムとバーベキューランチ 大石神社：縁結び祈願 (上郡町) 上郡町役場：勾玉づくり (備前市) 閑谷学校研修センター：最終アピールタイム・カップリング発表 (赤穂市) 野外活動センターにて男性解散、JR 姫路駅にて女性解散</p> <p>■事業効果 当縁結び事業により、13組のカップルが成立した。</p> | | |
| 事業費 1,000,000 円 (予算額 1,000,000 円) | | |

圏域マネジメント能力の強化

【ア. 圏域内の職員等の交流】

圏域内の職員等の交流

○取組の内容

職員の資質向上及び圏域マネジメント能力の強化を図るため、圏域外の専門家の招聘や、合同研修、職員交流を実施する。

| 備前市の役割 | 赤穂市の役割 |
|--|--|
| a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 赤穂市と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招聘する。 | a 赤穂市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招聘に協力する。 |
| 備前市の役割 | 上郡町の役割 |
| a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 上郡町と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招聘する。 | a 上郡町が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招聘に協力する。 |

| 事業名 | 職員研修事業 | 関係市町 |
|-------------------------------|--|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 職員の能力向上を図るため、圏域内の共通の課題をテーマに各市町職員を対象とした集合研修等の研修を実施する。 | |
| 効果 | 職員の能力及び資質の向上を図るとともに、圏域全体にわたる事業運営の円滑化と職員間の一体感を醸成させる。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| 1. 先進圏域視察 | | |
| ◇日 程 | 平成 27 年 10 月 6 日 | |
| ◇視察先 | 大分県由布市 | |
| ◇参加者 | 赤穂市 4 名、上郡町 1 名、備前市 1 名 | |
| 事業費 200,520 円 (予算額 366,000 円) | | |
| 事業名 | 職員研修参加交流事業 | 関係市町 |
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 各市町において実施している職員研修に、他の関係市町の職員を受け入れる。 | |
| 効果 | 参加可能な研修メニューの幅が広がるとともに、職員間の交流を深める。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |

| |
|--|
| 赤穂市 ◇平成27年11月4日(水)赤穂市役所において開催した議員研修会に参加。 |
| 内 容 西播磨地域における公立病院の現状について |
| 講 師 全国自治体病院協議会会長 邊見 公雄 氏 |
| 参加人数 備前市 7名、上郡町 3名 |
| (予算額 ー円) |

| 事業名 | 人事労務担当職員研究会(交流)事業 | 関係市町 |
|--|--|-------------|
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 関係市町の人事担当部署が人事労務にかかる情報交換を図る研修・交流会を持ち回りで開催する。 | |
| 効果 | 人事労務に係る情報交換を行うことにより、関係市町の課題に的確・迅速に対応する。 | |
| 平成27年度事業の内容 | | |
| 平成27年11月27日(金)、上郡町役場において人事労務担当職員研究会を開催した。研究会では、各市町の課題となっている事項等について意見交換を行った。 (協議事項) 退職管理の適正確保について 等 | | |
| (予算額 ー円) | | |

| | | |
|--|--|-------------|
| 事業名 | 専門家招へい事業 | 関係市町 |
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 高度で専門的な知識・技術等を有し、広域的な行政運営の見識が深く、専門的な立場から指導・助言できる専門家を招へいする。 | |
| 効果 | 魅力ある圏域づくりに向け、多様化する住民ニーズを的確に捉え、政策立案ができる職員等を育成する。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| <p>一般財団法人自治研修協会の地方公務員等研修支援事業を活用し、以下のとおり 2 市 1 町 女性幹部職員養成セミナーを実施した。</p> <p>1. 基調講演 やっときた！女性の時代 ～公務員が主役の時代へ～ 講師：(株)ローカルファースト研究所代表取締役 関 幸子 氏</p> <p>2. 事例演習 自治体が直面する政策課題に対する取組事例（2 例）を取り上げ、集団討議を実施した。 講師：(一財)自治研修協会事務局長 飯田 昌三 氏 〃 総務部長 宮原 則幸 氏</p> <p>3. 日 程 平成 27 年 8 月 26 日（水）～ 27 日（木）の 2 日間</p> <p>4. 会 場 赤穂市文化会館 ハーモニーホール 学習室 外</p> <p>5. 参加者数 基調講演 約 50 名 事例演習 30 名</p> | | |
| 事業費 47,196 円 （予算額 40,000 円） | | |

| | | |
|--|-------------------------------------|-------------|
| 事業名 | 職員交流（派遣）事業 | 関係市町 |
| | | 赤穂市・備前市・上郡町 |
| 事業内容 | 関係市町において協議のうえ、必要に応じ職員の派遣交流を行う。 | |
| 効果 | 圏域全般における職員の相互理解と、職員としての資質・能力の向上を図る。 | |
| 平成 27 年 度 事 業 の 内 容 | | |
| ◇実施内容 平成 27 年 12 月 14 日（月）、赤穂市で開催された「赤穂義士祭」に、備前市から職員を派遣した。 1 派遣職員 備前市 3 名、上郡町 3 名 2 業務内容 特設観覧席における誘導等 | | |
| （予算額 ー円 ） | | |